

親切運動の取り組みについて

富山県立入善高等学校
生徒数 534 名

1 親切運動の取組の紹介

【緑豊かなまちづくり】

- 本校農業科の生徒が育てた花苗を入善町の「水の小径（こみち）」の花壇に定植する活動です。今年度の第1回目は、昨年度も行った2年生が5月にマリーゴールドやベコニアなど花の種類や色のバランスを考えながら手際よく植えていきました。第2回目は、初めて参加する1年生が10月に農業科の生徒に教えてもらいながら葉牡丹とビオラを植えました。町民の皆さんに季節ごとの花を楽しんで頂けたら嬉しいです。



【あいさつ運動】

- 10月の第2週には、「高校生さわやか運動」期間にあいさつ運動と清掃活動に取り組みました。「あいさつ運動」では、生徒会が地域の小学校に出向き小学生や民生委員の方々と一緒に活動をしました。また自治委員が駅前、交通委員が生徒玄関であいさつ運動を行いました。「清掃活動」では、各部活動や生徒会を中心に学校や駅周辺の清掃場所を決め、多くの生徒たちがごみ拾いを行いました。



【募金・書き損じ葉書集め】

- 12月には、「赤い羽根共同募金」や「ユニセフ」、「書き損じ葉書集め」、「心のとも運動」を行いました。期間を分け、4つの活動を展開し少額ではあるものの全校生徒の協力を得て、振り込みをすることができました。



2 親切運動に取り組んで

【取り組みの成果】

- 「花いっぱい運動」は、1年2年と連続して全員が取り組むことで地域の環境美化活動に対する意識が学校全体で共有されています。また、「あいさつ運動」や「清掃活動」でも校外に出て、小学生や地域の方々とふれあいながら社会参加する経験を積むことで成長する機会を得ています。多くの生徒たちが参加し前向きに取り組む姿が毎年見られるようになってきています。

【課題と今後に向けて】

- 今年度初めて「書き損じ葉書集め」を行いましたが、生徒会も生徒たちも経験不足でうまく集めることができませんでした。このように、社会には身近ですぐに取り組めるものから趣旨を理解し準備をして取り組むものなど数多くの親切運動が存在しているものの、知らないものが多くあります。今後も入善高校として地域社会に貢献できる活動を続けつつ、新しく取り組める「親切運動」にも積極的に参加する姿勢を学校全体で持ち続けていきたいと思ひます。